

世界会議連絡特別会議 基本方針

議長 山下 隆子

長きに亘る歴史と豊かな自然を背景に培われた各地域の特色を活かして展開する各LOMの運動をより成果のあるものに進化させるためには、他の地域を知り、翻って自らの地域を顧みることが必要です。更にはその視野を世界に広げることで、JCだからこそ可能な運動の多元的展開のためにも、JCI世界会議大阪大会を国際的な視点から自分達の地域の発信を行うことでその魅力を再認識し、今後の活動に繋げていく絶好の機会とします。

広く世界に向けてJC運動を発信する場であるJCI世界会議大阪大会を効果的に活かしていくためにも、主管LOMである大阪JCと強くしっかりとした連携をとり、登録の取りまとめに加えて地区協議会内での対応窓口として、6ブロック協議会を通じて各LOMへの情報の発信と共有に注力いたします。また、ホスト地区として96LOMの全メンバーの心と力を結集し、おもてなしの心を存分に発揮して世界中のメンバーをお迎えするために、日本青年会議所本会の事業である京都会議をはじめ、サマーコンファレンスや全国会員大会小田原大会において、参画意識の向上にむけた活動を行います。当事者意識を持ち、積極的に参画することで各地域における今後のJC運動の可能性を感じていただくことに繋がります。そして、宗教や思想、人種や民族、慣習などの違う世界中から集う人々と交流する機会を通して、それぞれの地域から日本という国に目を向け、自国の文化や歴史といった自らのアイデンティティを確立した真の国際人の育成に取り組み、世界に冠たる日本の青年会議所として、責任の伴う発展を可能とする世界を建設する機会とします。

JCは多様な価値観と豊富な経験、あらゆる参加の機会に溢れた団体であるという特長を活かし、JCI世界会議大阪大会への支援を通じて近畿が日本の明日を照らす太陽となることに繋げるとともに、行動力に裏づけされた、たくましい近畿の確立を実現します。

〔事業計画〕

1. 世界会議大阪大会の支援
2. 主管LOMとの連絡調整
3. 世界会議登録における地区内LOMの取りまとめ
4. 世界会議における地区内LOMの対応窓口
5. 地区内LOMに対する世界会議参画意識の啓蒙活動